

鉄筋継手部検査演習問題集（2013年） 正誤表

ページ	誤	正
73-74		<p>[7-16] [7-17] を追加する。</p> <p>[7-16] 熱間押抜ガス圧接の検査に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 圧接部の検査は、外観検査である。</li> <li>2. 圧接部の検査は、全数検査が可能である。</li> <li>3. 検査技術者は、熱間押抜検査技術者資格を有する者とする。</li> <li>4. 押し抜かれたリング状のふくらみは、必ず除去する必要がある。</li> <li>5. 圧接部表面の目視観察で圧接部の品質を判定できる。</li> </ol> <p>正解：4</p> <p>[7-17] 熱間押抜ガス圧接の検査に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外観検査では、継手部の割れやへこみなどの有無を検査する。</li> <li>2. 暗所や圧接部の裏側（直接見えない部分）の外観検査を行うために、ライト付きの鏡を使うと良い。</li> <li>3. 圧接部のふくらみの直径（大きさ）は、SD490 の場合、鉄筋径の 1.2 倍以上でなければならない。</li> <li>4. ふくらみの長さは、ノギスやスケールにより測定する。</li> <li>5. 押し抜かれた後の圧接部の表面の酸化膜は、ワイヤーブラシで除去する。</li> </ol> <p>正解：3</p>
84	<p>[8-12]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作業構台の墜落防止及び物体の落下防止措置として高さ 10 cm 以上の幅木、メッシュシート又は防網（同等の措置を含む）を設ける。</li> </ol>	<p>[8-12]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 物体の落下防止措置として高さ 10 cm 以上の幅木、メッシュシート又は防網（同等の措置を含む）を設ける。</li> </ol>

平成 26 年 3 月 27 日

公益社団法人日本鉄筋継手協会